

高級伝統家具の新商品開発

室内聡子*1, 赤澤正行*2

抄 録

高級鏡台専門メーカーの伝統に培われた指物技術, 拵貼り技術・塗装などの高級鏡台の製造技術を活用し, 新たな価値の創造を行い需用の拡大を図ることを目的として共同研究を実施し, 家庭のリビングに調和する仏壇2種類を開発した.

1 はじめに

住宅事情や生活様式の変遷から, 徳島県が産地である高級鏡台の需用が減少し, 鏡台を製造する設備で現代仏壇の製造も可能であることから, (株)赤澤では従来の鏡台から現代仏壇へと生産が移り変わってきている. そこで, 高品質な徳島の伝統家具の阿波鏡台製造技術を活用し, 現代様式に適合した新型仏壇を共同で開発したので報告する.

2 方法

2・1 市場調査

リビングに設置する新型仏壇の開発を目標として, 新たに設計するにあたり, 他の家具とのコーディネートが重要となる. そこで, 現在リビングで需用のある家具の流行について調査するため, 大規模ネットショップにおいて販売順位が高い家具の種類を調査した. 上位に複数あがっているのが大型液晶テレビを置くローボードタイプのテレビボードであることに着目し, 「テレビボード, ローボード等のリビングインテリアに調和し, 小型で高級かつ収納時は仏壇に見えないもの」と方針を設定し, テレビボードの売上げランキングの上位20位までの製品について寸法, 色を調べ開発の目安とした(表1).

次に, 仏壇の主流となりつつある現代仏壇の売上げランキング上位30位までの製品について寸法について調べたところ, テレビボードのサイズと比べ高さの差が大きいことが目立った(表2).

表1 テレビボードの上位20位製品寸法中央値

| | |
|-------|---------------------------|
| W:幅 | スライドにより調整できる もの複数のため省く |
| D:奥行き | 420mm |
| H:高さ | 400mm |

表2 現代仏壇の上位30位製品寸法中央値

| | |
|-------|--------|
| W:幅 | 450mm |
| D:奥行き | 375mm |
| H:高さ | 1455mm |

※上置きタイプのものは除く

2・2 設計

仏具や仏像が収納できるサイズを確保しながら, 高さを抑え, かつ普段は仏壇に見えないよう設計した. 3DCAD (Rhino)にて設計を行い, 3DCGシミュレーション画像で外観を確認しながらインテリアに適合するか検証を行った(図1).

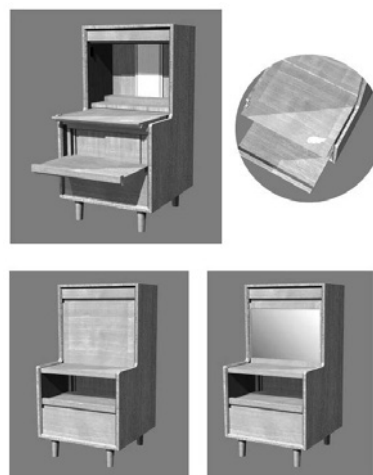


図1 3DCGによる外観の確認
(設計中の画像)

*1 生活科学担当, *2 (株)赤澤

3 結果

2機種について図面を作成し、試作品を完成させた。それぞれ上段の仏像収納部位と下段の仏具収納部位に分かれており、下段をテレビボードの高さに揃え、高さをできるだけ抑える設計とした。図2の試作品A（ビューロタイプ）のサイズは高さ93cm、幅45.8cm、奥行き45cm。丁番を軸として前扉を90度手前に倒して開き、開いた状態でお膳などのお供え物を置く台となる。図3の試作品B（観音開きタイプ）のサイズは高さ86cm、幅45cm、奥行き45cm。上部の4枚部材で構成される観音開きの扉により仏像を収納する。下段収納部のスライドレールの棚に仏具を収め、前扉を閉めることで見えないように収納することが可能である。いずれも化粧材に天然柾のホワイトシカモアやタモを使い、塗装を施し高級感のある自然の木目の仕上がりとなっている。

また、これらについて当センター内で撮影を行い、販促用カタログを作成した（図4）。取引先の卸販売店に配布したところ、注文を得ることができた。

これらの仏壇について、徳島県と（株）赤澤で意匠登録を共同出願した。



図2 試作品A（ビューロタイプ）
左：閉じた状態 右：開いた状態



図3 試作品B（観音開きタイプ）
左：閉じた状態 右：開いた状態

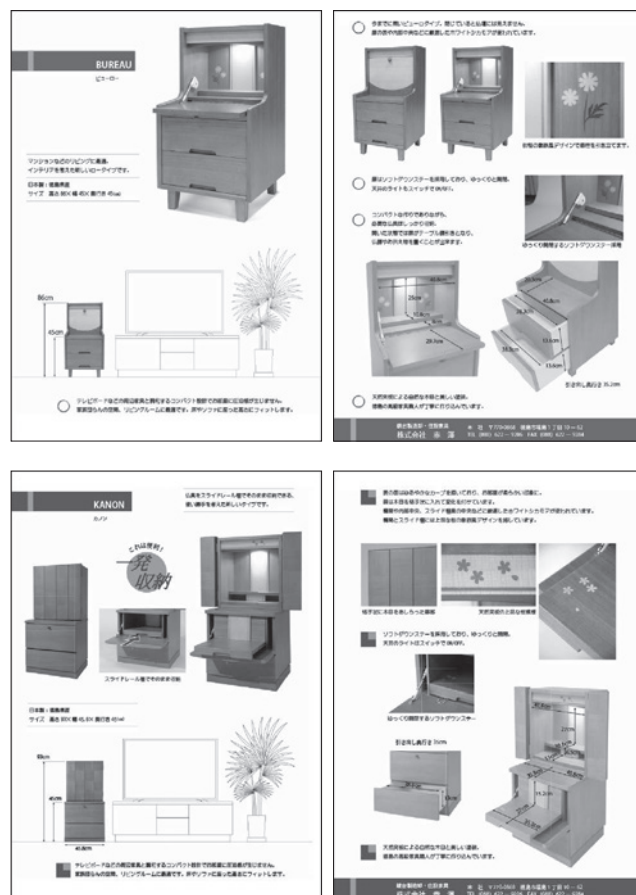


図4 販促用カタログ

4 まとめ

家庭のリビングに調和する従来にないデザインの新型仏壇2種類を共同で開発した。製造コストをさらに見直し、改良を行うことで安定した販売と量産化に繋げていきたい。